

# 障害のある人と

# とともに考える

# 防災ワークショップ

in 福井



## プログラム

13:30～ 講演「東日本大震災における要援護者支援の実態」(仮題)

15:00～ ワークショップ 定員40名(1グループ8名)

# 11月23日[月・祝]

# 13:30～17:00

## 場所

福井県社会福祉センター  
第1研修室・第2研修室  
福井市光陽3丁目3-22

定員：講演100名 ワークショップ：40名

参加費：ワークショップ参加費500円 講演は無料(カンパをお願いします)

主催 「障害のある人とともに考える防災ワークショップ」実行委員会

後援 福井県社会福祉協議会／福井市社会福祉協議会(申請中)

協力 自立生活センター Com-Support Project

問い合わせ：田中伸治 Tel:0776-25-1057 Fax:0776-25-1040

(自立生活センター Com-Support Project 内)

# 障害のある人とともに考える防災ワークショップ

大きな被害をもたらした東日本大震災から4年。この震災を通して、日本中どこにあっても地震やこれによるさまざまな災害の可能性を考えることとなりました。

今、大きな地震が福井でも発生したら、どういったことが予想されるのか。とくに障害のある人にとってどのような状態に陥るのか。福井県は嶺南地方を中心に数多くの原発を抱える現状もあり、火災の発生やライフラインの損失など複合災害になる恐れも考えられます。また近年では、水害による被害も多くなり、多くの天災による被害が想定されています。

障害者の実体験をお聞きし、災害時にはどうなるのか、またどういったことが地域社会にとって必要なのかを考えるきっかけになればと思い、今回のワークショップを企画しました。

## 講師：青田由幸 氏

(特非) さぽーとセンターぴあ代表理事

プロフィール

1954年福島生まれ。福島県南相馬市の会計事務所に嘱託勤務。

妻、長女、次女(重度障がい者)とともに仙台市在住。震災後は両親の介護のため本人の南相馬市在住。2008年5月NPO法人を立ち上げ、障害福祉サービスとして生活介護、就労支援B、活動支援センター、障がい者相談支援の事業を運営している。

震災直後、全国の市町村で唯一個人情報開示のもと、南相馬市内に取り残された障がい者の安否確認、生活支援を行った。

「社会福祉主事」「ファイナンシャルプランナー」

福島県ひまわり会会長(障害児・者の訓練・動作法を推進する親の会)

## 講師：鈴木絹江 氏

(特非) ケア・ステーションゆうとぴあ 理事長

プロフィール

1951年福島県いわき市生まれ。

1998年 JIL 認定 ピア・カウンセラー

2001年 イリノイ州立シカゴ大学にて、障がい者虐待防止ワークショップインストラクター養成研修終了

2011年3月 東日本大震災原発事故により、福島県田村市船引町で運営していた事業所を休業し、障害を持つ人と共に昭和村(福島県)と新発田市(新潟県)へ集団避難。原発事故に対し、「避難する人へも、留まる人へも支援をする」事業所決断をした。

2013年10月京都へ避難移住

## 11月23日 障害のある人とともに考える防災ワークショップ in 福井 参加申込書

ワークショップ参加希望の方は、下記にご記入の上、ファックスにてお申込み下さい。

講演  ワークショップ (ご希望の欄にチェックをお願いします)

氏名 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

備考  
( \_\_\_\_\_ )

車いす使用者 名 \_\_\_\_\_

申込先

FAX 0776-25-1040

お問い合わせ

TEL 0776-25-1057 (自立生活センター Com-Support Project 内 担当:田中)